

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいキッズ		
○保護者評価実施期間	2024年 月 日		～ 2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との対話を大切に、ニーズに合わせた対応を心がけている。	家庭での様子や学校での様子を教えていただく時間をゆっくり取ることができるように心がけている。	定期的に様子を教えていただく機会を持つ。
2	今通っておられる放課後デイとの連携。	保護者の承諾を得て放課後デイと情報を共有している。	支援の内容など必要に応じて話し合いを行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問回数が少ないこともあり、学校との連携がまだ取れていない。	保護者の依頼からの訪問であること。	保護者に学校での様子等を定期的に教えていただく機会を持つ。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 あいキッズ

公表日 2025年 2月 22日

利用児童数 2025年 2月 17日

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				1		学校との連携を図り、必要に応じて準備を整える。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	1					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	1					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	1					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	1					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	1					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	1					
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	1					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	1					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	1						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				1	発信の方法、内容を検討していく。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1				
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1				
	28	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名
あいキッズ

公表日 2025 年 2月 22日
利用児童数 2025年 2月 17日 回収数0

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。					
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。					
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。					
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。					
5	事業所からの支援に満足していますか。					
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
まだ訪問にきてもらった回数も少なく、ゆっくり話もできていないため今回の評価はできない。						

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日				
あいキッズ		2025 年 2月 22 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。			直接支援は行っていない。	学校との連携を図る。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1		機会をもっと増やしていきたい。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		1		情報共有を行い連携を図ることが必要。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1		放課後デイと情報共有をし、支援を行っている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		1		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1				
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。		1			

関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		1		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			保護者からの要望に応じて行う。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		1	専門的機関等の研修に参加し、助言をいただき支援に活かしていきたい。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		1	時間的に難しいところはあるが、機会を作り参加していきたい。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	1		情報共有を行っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		1	必要な情報提供を行っていくことができるよう研修の情報を収集する。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1		家族の意向、保護者にこどもの意向の確認を行っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。				
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		1	HPやSNS等での発信ができていない。	発信の方法や内容を検討する。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1				
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。		1	訪問の回数が少なくまだできていない。	情報共有を行い連携を図ることが必要。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		1	訪問の回数が少なくまだできていない。	情報共有を行い連携を図ることが必要。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。		1	訪問の回数が少なくまだできていない。	情報共有を行い連携を図ることが必要。
42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1				

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいキッズ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 28日		～ 2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 1月 28日		～ 2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025/2/17		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団での活動、個別の活動の両方で支援を行っている。	集団活動、個別活動での取り組みやこどもの様子を共通理解できるように毎日登園前、登園後にミーティングを行っている。	こどもの興味のある事を楽しい活動として取り組むことができるよう保育内容を検討していく。
2	ノートやバス送迎時を活用し保護者と情報共有を行っている。	体調やこどもの様子などを共通理解し保育に取り組んでいる。ニーズに応じて電話での相談支援を行っている。	こどものささいな表情や行動に気づきスタッフ間で情報共有をして支援に生かしていく。
3	こどもと一緒に活動を楽しんだり普段の様子を見ていただけるように親子登園日を設けている。	集団での活動を一緒に楽しく取り組む中でお家以外での姿を見ていただけるよう取り組んでいる。	親子登園の設定日、活動内容を充実させる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員のスキルアップのための研修や勉強会に参加する時間が少ない。	研修のある時間が保育時間と重なることが多いため、時間を取ることが難しい。	スタッフの人数調節の工夫をする。
2	地域との交流が少ない。	大人数が入り交流をするスペースがない。 地域とのつながりが少ない。	地域の情報を収集したうえで、今後の活動のプログラムに取り入れる事ができるか検討する。
3	戸外活動の時間がなかなか取れない。	より手厚い人員配置を行えると良い。	スタッフの補強を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あいキッズ
------	-------

公表日 2025年 2月 22日

利用児童数 2025年 2月 17日

回収数 14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2			概ね「はい」という評価だった。	引き続き確保する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14				全て「はい」という評価だった。 ・十分だと思います。	引き続き確保する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1			概ね「はい」という評価だった。	引き続き確保する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				全て「はい」という評価だった。	引き続き確保する。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				全て「はい」という評価だった ・特性に合わせてSTのセラピーをうけられるのがすごくありがたい	引き続き行う。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14				全て「はい」という評価だった。	引き続き行う。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				全て「はい」という評価だった。	引き続き行う。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			2	概ね「はい」という評価だった。	引き続き行う。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				全て「はい」という評価だった。	引き続き行う。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			1	概ね「はい」という評価だった。	引き続き行う。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5		3	6	・どうしても発達差があるので全員は難しいかと思う。 ・週2の利用のため他施設との交流については分かりませんが、事業所で他のお友だちと十分に交流できていると感じています。	地域や園との交流に関する情報を収集し、参加できるかどうかを検討していく。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				全て「はい」という評価だった。	引き続き行う。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				全て「はい」という評価だった。	引き続き行う。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13		1		概ね「はい」という評価だった。	保護者のニーズに合わせた研修の情報を提供していくことに努めていく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14				全て「はい」という評価だった。 ・いつも送迎時などに様子の共有をしてくださっている。	引き続き行う。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				全て「はい」という評価だった。	引き続き行う。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				全て「はい」という評価だった。	引き続き行う。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	1	1	概ね「はい」という評価だった。 ・週2日の利用のため、きょうだい向けのイベントについては分かりませんが保護者同士の交流の機会が設けられています。	交流の機会を増やしていくことを検討する。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13		1		概ね「はい」という評価だった。	引き続き行う。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			全て「はい」という評価だった。 ・私も安心できています。	引き続き行う。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2	1	概ね「はい」という評価だった。 ・あまりHPを見ないのでわからないです	活動プログラムの発信を検討する。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			全て「はい」という評価だった。	引き続き行う。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	1	概ね「はい」という評価だった。	引き続き行う。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12		2	概ね「はい」という評価だった。	引き続き行う。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			全て「はい」という評価だった。	引き続き行う。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13		1	概ね「はい」という評価だった。	引き続き行う。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14			全て「はい」という評価だった。 ・通所が始まり、子どもの表情が豊かになりました。私たち家族の子どもへの接し方にも変化ができて、家族で日々全身で来ていると実感しています。いつもありがとうございます。 ・親子共に安心し	これからも安心して通所していただける場所であるよう心がけていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1		概ね「はい」という評価だった。 ・毎回「明日はあいキッズ！」と楽しみに通わせてもらっています。	これからも子どもたちが通所することを楽しみにしていただける場所であるよう心がけていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14			全て「はい」という評価だった。 ・できれば兄妹もいるので親子通園の日一緒に連れて行けるようになると嬉しいです。	これからも満足していただける支援を心がけていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025/2/22				
あいキッズ						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	ロッカーの配置などスペースを広く取れるように配慮している。	活動的な保育内容を行う時に狭く感じることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		近年併行通園、低年齢化などの変化がみられる為変化に応じた対応が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	トイレや手洗い場などこどもが使いやすい高さになっている。ロッカーや靴箱などにそれぞれのマーク、おもちゃのかたづけの場所に写真を貼り、分かりやすいように支援している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の掃除、消毒を丁寧に行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		発熱など体調不良時や気持ちを落ち着かせる時など、もう一部屋あれば…と思う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎日、こどもの登園前、降園後にミーティング、定期的に会議を行い情報の共有を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			頂いたご意見を業務改善につなげていくことができるようスタッフ間で話し合いを行う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日、こどもの登園前、降園後にミーティング、定期的に会議を行いそこで出た意見を改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		必要に応じた外部評価の機会を検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	個人で研修を受けたスタッフが内容の報告を行っている。	研修に参加するための人員確保。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		保護者との面談や送迎時の情報交換を大切にし、児童発達支援計画に反映している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		毎日のミーティングで、こどもの様子や支援内容などを話し合う時間を大切にしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		毎日のミーティングで確認された支援、振り返りを行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		保護者との面談内容を軸に計画を作成し、目標に向けた支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎日の活動を考えるとき、スタッフ間で内容を相談し一緒に考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		5領域の中で必要な活動を、こどもの状況に応じて工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動、集団活動それぞれのこどもの様子を共通理解した上で、児童発達支援計画の作成、支援を行っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		毎日行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行い、目標の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	保護者の要望があった場合、関係機関と連絡を取りあい、こどもの様子の情報を共有する。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		毎年地域の医療機関(内科、歯科)に検診に来ていただいている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		併行利用や移行に向けて保護者の意向を伺い、支援を行っている。また、要望のある方には、併行利用の圖と情報共有を行っている。	必要に応じて併行利用、移行先の圖と情報共有、相互理解を行う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者からの要望がある時に行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5		児童発達支援センターでの診察内容を保護者を通じて教えていただいている。直接の連携を検討する。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		場所や時間など難しい点はあるが、実現に向けて話し合いを行う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡ノートや送迎時にこどもの様子を伝えている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		保護者のニーズに合わせた研修の情報提供を行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		見学、契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者との面談で、家での様子や意向を教えていただいている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		児童発達支援計画の支援内容の説明と、保護者の意向が取り入れられているかの確認をして頂きサインをお願いしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			きょうだいの年齢の幅が広いことや交流の時間、場所など設定が難しく実現していない。保護者の会の回数を増やして行う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		保護者からの相談への対応の時間を大切にしている。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		ケアット通信を年三回発行している。	SNS等の活用は行っていない。毎月の活動プログラムなどの発信方法を検討していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		スペースの問題などもあるが、地域との交流の方法を考えていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		災害に応じた訓練を定期的に行っている。緊急時対応の手紙を配布し、機会を見て再確認をお願いしている。	想定外の災害が起こってしまった時にも対応できる準備。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		急な事態に対応できるようその場で役割を決め動く訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		入園時に確認をしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		今年度は該当する子どもがいなかったが、入園前に保護者に確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		定期的に行っている避難訓練で、改善点を検討している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		災害時の連絡カードを作成し保護者に記入していただいている。	災害時の連絡ツールを検討。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットが起こった場合、状況、原因、再発防止に向けた方策を検討して情報共有を行う。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		スタッフ全員で研修内容を確認し、虐待防止の意識を高めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		バスでのベルト着用について事前に説明している。	